

通級指導教室のご案内

長久手小学校には通級指導教室「あおぞら」があります。どのような教室で、どのようなことを行うのかをご紹介します。



通級指導教室とは

集団の中で十分に力を発揮できない子どもたちの心の安定を図りながら、集団生活に参加しようとする意欲と力を育てていきます。

通常の授業時間内に週1～2時間程度、通級指導教室（あおぞら）で、基本的に1対1で指導を行います。

☆ どのような子どもたちが利用するの？

- ・ 大勢の中にいると、行動や気持ちのコントロールが難しい。
- ・ 自分の気持ちや考えを言葉で表現することが苦手である。
- ・ 人の話を聞いて理解することが苦手で、周りとは別のことをしてしまう。
- ・ 学習の中で、得意なことと苦手なことに差があり、苦手意識が大きく働き自信をなくしてしまいそうである。
- ・ 生活のルールがよく理解できない。
- ・ 人と関わるのが苦手である。
- ・ 友達と遊ぶのが苦手である。 ……など

☆ 教室ではどのようなことをするの？

社会に適応する能力を養うために、**SST(ソーシャルスキルトレーニング)**を行います。

遊びや運動などで
四肢の感覚を鍛えます。

自立活動

不安などを和らげ、
心の安定と解放を図ります。

つまづいている学習の訳を考え、
学習の仕方を身につけます。

コミュニケーションの力を育て、
人のかかわり方を学びます。

★ 個別対応の学習補充ではありません。

特別支援教育にご理解を！

子どもたちの中には、さまざまなタイプの子どもたちがいます。

集団の中では、緊張してしまい自分の力を出すことができない子、じっとしていることが苦手で、周りのことが気になってしかたがない子、自分の気持ちをコントロールできなくて混乱してしまう子など。このような子どもたちは、ただ単にわがままでそうしているわけではありません。

障がいがある子どもたちも含め、いろいろなタイプの子どもたちに、みんな健やかに成長してほしい、みんなが学ぶよろこびや楽しさを実感してほしい、仲間との温かい気持ちのやりとりを感じてほしいと願います。

今、学校では「特別支援教育」として、一人一人のニーズに応じた支援や指導を心がけています。その一つとして「通級指導教室」の制度があります。

みんなから離れて、個別の指導を受けることは、だれしも抵抗があると思いますが、少しでもその子が困っていることが改善されるように、みんなで温かく見守り応援していきたいと考えます。保護者の皆様にも、ご理解いただき、特別支援教育を支えていただきたいと思います。

「できること」を増やしながら、子どもたちは自分の評価を高め、自己理解を深めていきます。そのためにも、早い時期に、適切な指導を受けることが大切です。

お子さんのことで、心配や気になることなどありましたら、お気軽にご相談ください。